

漁業体験に行ってきました！



9月に千葉県鋸南町の株式会社Seaside Consulting 様に伺いました！

参加した学生7名は、社長から会社の概要や環境問題解決のためにすべきことをお聞きし、質問を通して学びを深めました。また、実際にバナメイエビの養殖場を見学し、餌、養殖方法と養殖環境などを学びました。

今、魚の獲りすぎが世界的問題と
なっていることを知ってるいそか～??



<漁業の環境問題>

- ・ **混獲**：違法に目的の魚以外を誤って獲ってしまうこと
- ・ **IUU漁業**：違法 (illegal) 無報告 (unreported) 無規制 (unregulated) で漁業をし、違法に輸出すること
- ・ **ゴーストフィッシング**：違法に放置された漁具に野生生物が絡まってしまうこと

日本はエビの世界有数の消費国ですが、輸入率は90%をも占めています。
主に東南アジアで養殖がさかんです。

<エビの養殖の環境問題>

- ・ 養殖場建設：干潟、マングローブなどの**自然破壊**や**生態系バランスの崩壊**
- ・ 養殖場からの排水：化学物質に**汚染された海水の海への流出**



日本の食が世界の環境悪化に影響！？

<Seaside Consulting 様の漁業の環境問題への取り組み>

環境問題や日本の課題を解決するため、「耕作放棄地でエビの養殖」を行っています。

☆独自の養殖方法☆

- ① **閉鎖循環式**：水槽の水をそのまま海に返す通常の掛け流し式とは違い、浄化して繰り返し水を使用します。掛け流しだと年間20,000L必要な水が315Lで済みます。
- ② 海を汚染する**化学物質は使用していません**。
- ③ **ガスを使わず**に施設内の温度を保っています。
- ④ **耕作放棄地の活用**：海辺ではなく、農地をエビ養殖に利用することで、農業、水産業を一つの枠組みとして連携させ、問題解決を目指しています。

～参加者の感想～

平野さんの「啓発だけでは間に合わない。環境について強く意識していない人でも結果的に環境にやさしい行動をとれる環境づくりをする必要がある。」というお言葉が強く印象に残りました。美味しいエビを食べたい！という動機だけでも環境にやさしい行動をとる世界は、なんだか素敵だと感じます。



SDGsが広まってきた今でも、漁業についてはよく知らない人が多いと思うので、体験させていただいた身として発信に力を入れつつ、自分で思いついた環境に良い取り組みを実践していきたいです。



この養殖は農業、漁業、環境保護すべてに効果があるという、斬新で環境にやさしい方法なので、広がってほしいと思います。ISOでもより持続的な効果がある活動を考えていきたいです。



食の安全保障に関して考える良い機会でした。これからの時代は、平野さんの事業のように、利潤を追求しつつ環境を改善していくことこそが、重要になると感じます。



株式会社Seaside Consulting、京葉銀行の皆さん、ご協力ありがとうございました！